

第 6 学年 1 組 国語科学習指導案

1 単元名・教材名 登場人物の心情をとらえ、感想をまとめよう「カレーライス」

2 児童の実態と本単元の意図

本教材は、主人公「ひろし」という小学校 6 年生の男の子を中心とした思春期特有の、自分でもどうしてももてあましてしまうような、うまく言葉にできずにもやもやした心情を扱った物語である。時間が経過するにつれ、「ぼく」の心情が「お父さん」との関わりの中でどのように揺れ動いていくのかを、文中の表現の中から丁寧に読み取っていくことが求められている。また、この教材は同じ小学 6 年生の子が主人公ということや、一貫して主人公の「ぼく」の視点から描かれているということから、児童が登場人物の心情をより深く読み取ることのできる教材である。

本単元を指導するに当たって、小学校学習指導要領の第 5 学年及び第 6 学年の「C 読むこと」を中心に指導を行っていく。また、物語を読んだ後の「感想を書くこと」を単元を貫く言語活動として設定する。共感を覚えながら読み進めることのできる教材であるため、自分の経験と重ね合わせながら作品についての感想や意見をまとめる活動ができると考える。またその感想を友達と交流することで、自分とは違う新たな視点からの意見も知ることができるため、作品に対する考えをさらに深めるとともに、感想を伝えるための表現方法も学ぶことができる。

3 単元の目標

- 登場人物の相互関係や心情、場面についての描写を捉え、自分の考えをまとめることができる。
(読むこと (1) エ)
- 教材文を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。
(読むこと (1) オ)
- 自分の感想を表すために、的確な言葉を用いることができる。
(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 (1) イ (カ))

4 単元の評価規準と学習活動に即した評価規準

	ア 国語への関心・意欲・態度	エ 読む能力	オ 言語についての知識・理解・技能
単元 の評 価規	・自分の経験などと重ね合わせながら、登場人物の心情を理解し、感想をもとうとしている。	・登場人物どうしの関わりと心情の変化を捉え、感想をまとめている。	・自分の感想を表すことができる言葉を選んで、文章を書いている。

準		・友達と感想を交流することにより、自分の考えを深めている。	
学習活動に即した評価規準	① 物語を読み、登場人物の心情をくみ取りながら感想を書いている。 ② 登場人物と自分を比較しながら登場人物の心情を理解しようとしている。	① 「ぼく」の心情の移り変わりをとらえている。 ② 叙述を基に「ぼく」とお父さんの関わり方を読み取っている。 ③ 友達と感想を交流し、自分の考えを深めることができてい	①感想文を書く際、自分の気持ちを表現するのに適した言葉を選択することができる。

5 指導と評価の計画（全5時間扱い） 本時4/5校時

時	主 な 学 習 活 動	学 習 内 容	評価規準・評価方法
1	○カレーライスを読み、主人公や題名などについて、感想を書く。	○感想のまとめ方	アの① オの① ・感想文の内容
2 3	○登場人物の言動を追い、そのときの「ぼく」の心情を考え、書きまとめる。	○登場人物の人柄の捉え方 ○登場人物の相互関係の捉え方	アの② エの①、② ・登場人物の心情の整理
④ 5	○感想文を書き、グループで読み合い、思ったことや感じたことを交流する。	○感想のまとめ方 ○登場人物の心情の捉え方	エの①、③ オの① ・感想文の内容 ・交流や発表の態度

6 本時の学習指導（本時4/5校時）

(1) 目標

○人物の心情をとらえて感想を書こう。

(2) 評価規準（1時間の授業に即した具体的なもの）

エ 読む能力	オ 言語についての知識・理解・技能
①「ぼく」の心情の移り変わりをとらえている。 ②叙述を基に「ぼく」とお父さんの関わり方を読み取っている。	①感想文を書く際、自分の気持ちを表現するのに適した言葉を選択することができる。

(3) 展開 (○は指導上の留意点)

前時の学習内容	・登場人物の人柄の捉え方 ・登場人物の相互関係の捉え方
---------	--

学 習 活 動	学 習 内 容	指導と評価の創意工夫	時間
1 前時の復習をする。	・ 前時の学習課題	○前時までの学習を振り返り、本時の学習に意欲的に取り組めるようにすると共に、問題意識を高める。 ○お父さんの視点から物語を読んだことを思い出す。	3'
2 本時の学習課題をつかむ。		○学習課題を板書し、ノートに写す。	4'
人物の心情をとらえて感想を書こう。			
3 感想を書くときの構想を学ぶ。	・ 感想の書き方 「初め」…初発の感想 「中」…学習した後の感想 「終わり」…まとめ	○「初め」「中」「終わり」という構成で書くことを教える。 ○教師が書いた例文を基に、それぞれの部分にはどんな内容が書かれているかを見童に答えさせる。	10'
4 実際に感想文を書く。	・ 感想のまとめ方	○「初め」「中」「終わり」の構想を意識できているかを机間巡視しながら確認する。 ○最後に題をつける。 ○書き終えた児童には、誤字脱字がないか確認するよう指導する。	25'
5 まとめ	・ 本時のまとめ	○感想を書くときの構成を再度確認する。	3'

		○次回の予告をする。	
--	--	------------	--

次時の学習内容	○書いた感想を交流する
---------	-------------

7 備考 在籍児童数 40 名

8 板書案

カレーライス 人物の心情をとらえて、感想を書こう。 ・感想を書くときの構成 初め……初発の感想 中………学習した後の感想 終わり……まとめ
--